

令和4年度 第2回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年9月13日（火）13時40分から15時40分まで
- 2 開催場所 和田小学校 視聴覚室
- 3 出席者 【委員】神谷 みち子、齋藤 博、鈴木 滋芳、高橋 靖博、
竹内 明美、林 實、箕浦 利弘

(欠席委員なし)

【学校】横井 靖二（校長）、岡本 綾子（教頭）、
泉澤 孝典（主幹教諭）

【教育総務課】堀田 洋一
- 4 傍聴者 なし
- 5 協議事項
 - (1) 前回会議録確認
 - (2) 今後の学校運営について～1学期教育課程アンケート結果をもとに～
 - (3) 学校支援活動について
 - (4) 情報交換
 - (5) その他連絡事項について
- 6 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 裕美
- 7 会議記録

司会の岡本教頭から、委員全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 前回会議録確認

司会から、前回会議において和田小学校運営基本方針について提案をし、今回会議においてその取り組みの中間評価と、意見交換をしていきたいとの説明があった。また、議長については前回に引き続き齋藤委員にお引き受けいただく旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

(2) 今後の学校運営について～1学期教育課程アンケート結果をもとに～

議長の指示により、泉澤主幹教諭から別紙資料（熟議資料）について説明があり、それについて委員から以下のような意見があった。

① 挨拶・登下校について

- ・元気よく毎日学校に通っているという回答が多く、大変好ましい。（齋藤委員）
- ・挨拶の仕方、「どういう場面でどのような挨拶をしたらいいか」という具体的な指導が必要だと感じる。年齢に応じても差がある。地域の方の評価は挨拶を通してされることが多く、それが今後、自分がどう社会から評価されていくかに繋がっていくので大事である。（齋藤委員）
- ・挨拶指導については、防犯上の問題もあり、一様には言えず、難しいと感じる。顔見知りになっていく中で挨拶が自然とできるようになるケースも多い。（鈴木委員）

② アンケートの自由記述欄について

- ・アンケートの意見については個々の意見に早い段階で対応できると良い。

（鈴木委員）

③ PTA・旗振りについて

- ・アンケートの中で、PTAの加入についての意見があった。PTA会費の集金の方法が変わった事で、PTAの在り方を考える必要があると感じた。PTAの活動内容や、予算の使い道を説明しながら活動してきたが、中でも役員のみ手がないということと、旗振りが負担になっているということが課題となっている。（高橋委員）
- ・PTAの活動について、学校との協力関係が強いと、PTAの必要性を強く感じるのではないか。（林委員）

(3) 学校支援活動について

神谷学校支援CDから、学校ボランティアの募集について、別紙（ボランティア募集）の項目で人材を集めていきたいとの提案があった。紙面での募集だけでは限界があるので、協議会としても協力としてもアイデアを出しあい進めていきたいとの発言があり、それに対し委員からも以下の発言があった。

- 既存の学校ボランティアの応募状況を見ると、紙面だけの応募では難しい。
(林委員)

⇒神谷学校支援CDから、今後は2学期中に人材を集め、3学期に実施をしたい。自治会への声掛け、協働センターとの情報共有、学校運営協議会委員から地域への声掛け等で人材集めをし、子供たちの学びの充実に繋がるよう取り組んでいきたいとの発言があった。

(4) 情報交換

- ヤングケアラーの問題が社会問題となっているが、和田小の実態はどうか。
(箕浦委員)

⇒昨年度、県のアンケートを実施した。無記名のため誰ということは分からないが、数名が該当している。アンケートとは別に学校で気になっている児童、家庭にはSSWと連携して対応を進めている。(横井校長)

(5) その他連絡事項について

司会から、本年度の学校運営協議会は、2023年1月12日（木）、2023年2月20日（月）に開催する旨の連絡があった。

以上